

# 令和6年度 第21回四国地域福祉実践セミナー in 徳島・阿南

## 開催要項

テーマ 持続可能な福祉コミュニティをめざして

### 【趣旨・目的】

かねてより社会問題として提唱されている少子高齢化による高齢者世帯及び高齢者単身世帯の増加や、心身の障害などによる社会的孤立や貧困問題、また、人口減少による地域コミュニティの機能低下など、私たちが暮らす地域社会は様々な問題を抱えております。

過疎化が進む地域では、長年住み慣れた地域や自宅で、その人らしく自由に過ごしたいと願う方々のお気持ちを大切に想い、いつまでもその地で暮らし続けていくために、私たちにどのような支援ができるのかについて知恵を絞っていかねばならないと思います。

そのためには、世代や分野の垣根を超えて地域住民や多様な主体が参画し、住民一人ひとりの暮らしと生きがいを地域とともに創っていく「地域共生社会」の実現に向けた取組が求められています。

このセミナーは、困難な問題に直面している方々に対し、その状態を少しでも改善しようと日夜、真摯に取り組まれている皆さんの日頃の取組における成果や問題点などをご報告いただくほか、さまざまな立場で実践されている方々からご意見を賜りながら、今後の実践に向けた活動につなげていくために開催いたします。

開催期日	令和6年7月13日（土） 12時30分から17時30分まで 令和6年7月14日（日） 9時00分から12時30分まで
会場	阿南市文化会館（夢ホール）及び富岡公民館 （徳島県阿南市富岡町西池田135番地1 TEL:0884-21-0808）
主催	第21回四国地域福祉実践セミナー実行委員会
共催	日本地域福祉学会/阿南市社会福祉協議会/那賀町社会福祉協議会/美波町社会福祉協議会/牟岐町社会福祉協議会/海陽町社会福祉協議会/徳島県社会福祉協議会/徳島県市町村社会福祉協議会職員連絡会
後援	徳島県、阿南市、那賀町、美波町、牟岐町、海陽町、日本地域福祉研究所、高知県社会福祉協議会、愛媛県社会福祉協議会、香川県社会福祉協議会、徳島県民生委員児童委員協議会、徳島県社会福祉法人経営者協議会、徳島県老人福祉施設協議会、徳島県保育事業連合会、徳島県私立保育園連盟、徳島県児童養護施設協議会、徳島県ホームヘルパー協議会、とくしま住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会
参加費	一般 3,000円 学生 1,000円
定員	450人
参加対象	・ 地域福祉に関心をお持ちの住民、ボランティア、NPO ・ 医療、保健、福祉及び地域福祉に携わる専門職・団体 ・ 行政、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、社会福法人施設等の関係者

【プログラム】

7月13日(土) 12:30～17:30 (受付開始時刻 11:30)

11:30	12:30	13:00	15:00	15:15	17:30	18:30	20:30
受付	開会 行事	シンポジウム (夢ホール)	移 動	分科会 (分科会場 1～5)	移 動	交流会 (ロイヤルガーデンホテル)	

7月14日(日) 9:00～12:30 (受付開始時刻 8:30)

8:30	9:00	10:15	10:30	12:00	12:20	12:30
受付	分科会報告 (夢ホール)	休 憩	総括講演 (夢ホール)	俳句 表彰	閉会 行事	

【内 容】

1 日目【7月13日(土)】

♥ 開会行事・シンポジウム (12:30～15:00) 会場：阿南市文化会館 (夢ホール)

12:30～13:00	開会行事
13:00～15:00	シンポジウム
テーマ 「 <b>みんなが主役・地域の力で光をつなぐ</b> 」	
シンポジスト	① 愛媛県 「宇和島市における重層的支援体制整備事業を活用した被災者支援」 宇和島市 高齢者福祉課 課長 岩村 正裕 氏
	② 香川県 「地域共生社会の実現に向けた取組 ～まるごと福祉相談員と生活支援コーディネーターの強みを活かして～」 社会福祉法人 高松市社会福祉協議会 地域共生社会推進室 主査 淵崎 義之 氏
	③ 徳島県 「地域で支えるひきこもり支援について」 ひきこもり支援グループつむつむ 会長 日根 美野子 氏
コーディネーター	公益財団法人 テクノエイド協会 理事長 特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所 顧問 日本社会事業大学 名誉教授 大橋 謙策 氏

♥ 分科会 (15:15～17:30)

各分科会会場のご案内

- ・ 阿南市文化会館 1階 視聴覚室
- ・ 阿南市文化会館 2階 研修室A
- ・ 阿南市文化会館 2階 研修室B
- ・ 富岡公民館 2階 大ホール (阿南市文化会館と隣接しています。)
- ・ 富岡公民館 1階 図書室 (特別分科会：阿南市文化会館と隣接しています。)

分科会の会場については、申込状況により決定します。分科会の会場は、参加券をお送りする際にお知らせします。

分科会 1	いつまでも住み続けたい！ 個別支援から地域支援活動へ (社会福祉協議会の実践)
【趣旨】 今、地域共生社会を目指し、各自治体において新たな地域福祉を実践する重層的支援体制整備事業が進められつつあります。そこでは、地域福祉活動を推進してきた社会福祉協議会や各団体・NPO法人等連携・協働を柱に、住民主体の個別課題解決型支援の地域福祉活動が強く求められます。ついては、社協等からの実践を通して、これからの個別支援から地域支援に向けての、課題解決型地域福祉実践のまちづくりの在り方を皆さんと意見交換をしながら共に考えます。	
船頭	社会福祉法人 那賀町社会福祉協議会 事務局次長 戸田 佐知子 氏
話題提供者	① 高知県 「高知市型地域共生社会を目指してCSWの実践」 社会福祉法人 高知市社会福祉協議会 地域協働課 課長補佐 馬場 敦久 氏 ② 香川県 「地域づくりにつなげる！新たな取り組み」 社会福祉法人 多度津町社会福祉協議会 事務局長 藤原 安江 氏 ③ 徳島県 「住民が支える移送サービスの取り組みと支え合いプラットフォームについて」 社会福祉法人 阿南市社会福祉協議会 事務主任 今川 聡士 氏
アドバイザー	聖カタリナ大学 人間健康福祉学部 社会福祉学科 助教 雑賀 正彦 氏

分科会 2	新たに問う！ 子どもまんなか社会をめざして
【趣旨】 「こどもまんなか社会」を目指し、昨年4月に「子ども家庭庁」が発足し、「誰一人取り残さず、抜け落ちることのない支援」が提唱されています。現在、「こどもの居場所」づくり活動として全国で9,000か所を超える「子ども・地域食堂」がボランティアや各種団体・施設機関の手で創設され色々なスタイルで展開されています。こども基本法の基本理念の中には「年齢及び発達に応じて、子どもの意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮されること」とあります。果たして、子どもの権利擁護が図られ、将来にわたって幸福な生活が送れる社会の実現を目指せることができるのでしょうか？子どもまんなか社会を目指した「地域実践」を通して、昨年引き続き皆さん方と意見交換をしながら共に考えます。	

船頭	社会福祉法人 牟岐町社会福祉協議会 事務局長 枘富 幸子 氏
話題提供者	<p>① 高知県 「こどもが運営するまち『とさっ子タウン』」 認定特定非営利活動法人 NPO高知市民会議 事務局長 尾崎 昭仁 氏</p> <p>② 愛媛県 「子育て世帯ともつながる社協を目指して」 社会福祉法人 久万高原町社会福祉協議会 強化発展係 主任 門 篤史 氏</p> <p>③ 徳島県 「田んぼと畑の奇跡の幼稚園と小学校～TOEC幼児 フリースクールと自由な学校の理念と実際～」 NPO法人自然スクールトエック (TOEC) 代表 伊勢 達郎 氏</p>
アドバイザー	四国大学元教授 (四国地域福祉実践セミナー顧問) 日開野 博 氏

分科会 3	福祉施設がめざす地域福祉
【趣旨】 社会福祉法人たる福祉施設は、地域における福祉拠点として地域の多様な福祉ニーズに対応して、自主性・主体性を失うことなく、開拓性、先駆性、公共性、独自性を堅持し、住民のセーフティネットの役割を担うことが求められている。また、社会福祉施設は社会福祉協議会や機関・団体、住民等と連携・協働により、社会や地域への貢献活動として課題解決型の持続可能な福祉のまちづくり活動が求められています。そこで社会福祉施設が目指す地域実践から、持続可能なまちづくりを参加者の皆さんと意見交換をしながら共に考えます。	
船頭	社会福祉法人 阿南市社会福祉協議会 事務局次長 齋 芳宏 氏
話題提供者	<p>① 愛媛県 「在宅生活から施設生活への（断ち切れない）支援とは」 社会福祉法人 慈光会 居宅介護支援事業所 ていれぎ荘 管理者 藤村 高弘 氏</p> <p>② 香川県 「地域と共に考え実践する社会福祉教育」 社会福祉法人 正友会 法人本部事務局 事務局長 丸畑 望 氏</p> <p>③ 徳島県 「地域における『共生会』の役割について」 社会福祉法人 共生会 法人事務局長 原 幸恵 氏 中央広域障がい者生活支援センターはくちょう 管理者 尾田 珠美 氏</p>
アドバイザー	高知県立大学 社会福祉学部社会福祉学科 教授 西内 章 氏

分科会 <b>4</b>	<b>みんなが主役のまちづくり</b> (民生委員・ボランティア・NPO等)
<p>【趣旨】</p> <p>少子高齢化・人口減少社会にともない、私たちの暮らしの課題は社会的孤立・引きこもり・ヤングケアラー・子育て支援・生活困窮者など新たな暮らしの課題とともに多種多様化してきています。私たちが生まれ育った「まち・むら」や住み慣れた地域社会で、未来に向けて私たちが安心して暮らし続けられるコミュニティをめざし、地域福祉活動の課題解決型の福祉実践として住民参加のもと、いま強く求められています。そこで、民生・児童委員、福祉委員、ボランティア、NPO団体等の住民参加型福祉活動の実践を通して、皆さんと意見交流しながら共に考えます。</p>	
<p>船 頭 社会福祉法人 海陽町社会福祉協議会 地域福祉担当課長 戎田 佳奈 氏</p>	
話題提供者	<p>① 高知県 「黒潮町における地域でつながる仕組みづくり～住み慣れた地域で暮らしたい～」</p> <p style="padding-left: 40px;">特定非営利活動法人 しいのみ 町なか休憩所はっぴい</p> <p style="padding-left: 80px;">生活支援コーディネーター 宮地 泉 氏</p> <p>② 愛媛県 「サードプレイス♡ふれあいの実践を通して」</p> <p style="padding-left: 40px;">社会福祉法人 東温市社会福祉協議会</p> <p style="padding-left: 80px;">専門員 土井 敬子 氏</p> <p>③ 徳島県 「那賀町における生活支援団体の取り組みについて」</p> <p style="padding-left: 40px;">社会福祉法人 那賀町社会福祉協議会</p> <p style="padding-left: 80px;">生活支援コーディネーター 宮崎 直人 氏</p>
アドバイザー	<p>社会福祉法人 今治市社会福祉協議会 関前支部長 島崎 義弘 氏</p>

<b>特別分科会</b> <b>5</b>	<b>「震災から学んだこと =日常の地域づくり= 」</b> ～安心・安全・減災・私たちに今できること～
<p>【趣旨】</p> <p>1995年阪神・淡路大震災、2011年東日本大震災、2016年熊本地震、2024年能登半島地震等、我国は多くの震災その他の災害を経験しました。日常から災害に強いまちづくりに向け、私たちはもう一度、地域福祉の視点から丁寧に地域づくりを行う必要があるのではないのでしょうか。課題でもある持続可能な地域コミュニティの実現に向け、私たちにできることは何か、皆さんと想いを語り・学び合い・共に考えます。</p>	
コーディネーター	<p>社会福祉法人 琴平町社会福祉協議会 会長 越智 和子 氏</p> <p>社会福祉法人 美馬市社会福祉協議会 常務理事 佐和 良佳 氏</p>

♥ 会場案内

阿南市文化会館（夢ホール）：阿南市富岡町西池田135-1

電話番号 0884-21-0808



- 徳島 ICから 南へ約1時間
- 徳島津田 IC から  
南へ約40分



access map  
アクセスマップ

- ◎JR阿南駅から西方面へ徒歩約15分
- ◎阿南市役所から南へ徒歩約10分



♥ 交流会（18:30～20:30）

会場：ロイヤルガーデンホテル（徳島県阿南市富岡町あ王谷52番地2）

電話：0884-23-3838

交流会費 1人 6,500円



♥ 〈地域のちから五七五（地域福祉句会）の開催について〉

セミナー開催にあたり、恒例の地域福祉句会を開催します。投句方法は、セミナー当日に改めてお知らせします。皆様の投句をお待ちいたしております。

なお、交流会の終了をもって、地域福祉句会の俳句の投句を締め切らせていただきます。



2 日目【7月14日(日)】 会場：阿南市文化会館（夢ホール）

♥ 分科会報告（9:00～10:15）

各分科会における討論の内容を報告します。

♥ 総括講演（10:30～12:00）

「持続可能なコミュニティをめざして～福祉でまちづくりから福祉はまちづくり～」

講 師 公益財団法人 テクノエイド協会 理事長

特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所 理事長

日本社会事業大学 名誉教授 大橋 謙策 氏

♥ 俳句表彰（12:00～12:20）

前日に投句された優秀作品の発表及び表彰を行います。

♥ 閉会行事（12:20～12:30）

---

# セミナーの参加申し込みについてのご案内

---

## 1 申込方法

セミナー専用申込フォーム（ <http://www.mwt-mice.com/events/jissen-shikoku21> ）または、QRコードからお申し込みください。QRコードによるお申し込みも受付完了後、確認メールが送られます。

なお、お申し込み後1週間が経過しても確認メールが届かない場合は、名鉄観光サービス株式会社徳島支店までお問い合わせください。

QRコード



## 2 申込期間

お申し込みは、2024（令和6）年6月28日（金）16時まで をお願いいたします。

## 3 参加費

一般 3,000円      学生 1,000円

## 4 参加申し込みの入力について

セミナー1日目【7月13日（土）】に開催の「分科会」の中から、ご希望の分科会番号を第2希望までご記入ください。なお、お申し込み順に受付をいたしますが、定員超過等により第1希望にご参加いただくことができない場合もございますので、どうかご了承ください。

### ◆「交流会」欄 1日目【7月13日（土）】

交流会にご参加の場合は、別途6,500円が必要です。記入欄の「参加」又は「不参加」を○でお選びください。

### ◆「宿泊」欄

宿泊をご希望される方のみお申し込みください。確保分がなくなり次第、終了させていただきます。

## 5 参加費用について

### （1）参加費用の支払方法

お支払いは「銀行振込」にて承ります。参加お申し込み完了後、「お申込み完了メール」に記載の金額、振込先をご確認のうえご送金願います。7月5日（金）まで に指定口座へお振込み願います。

なお、振込手数料は申込者負担にてお願いいたします。

### （2）申し込み内容の「変更」「追加」「取消し」方法について

◆ お申し込みの内容に「変更」「追加」「取消し」が生じた場合は、参加申込書に変更内容をご記入の



うえ、お申し出ください。

団体・グループにおかれましては、代表者（担当者）が一括してお申し出ください。

特に、交流会・宿泊の「変更」「取消し」は、お早めにご連絡ください。お申し込み後の取消しの場合は、下記のとおり「取消料」が発生しますので、あらかじめご了承ください。

なお、「参加費」については、ご返金できませんのでご了承ください。

- ◆ 交流会費及び宿泊費の返金につきましては、ご指定の口座にお振込みいたしますので、金融機関名及び本・支店名、口座種別、口座名義人等をお知らせください。なお、返金額は振込手数料を差し引いた金額とさせていただきます。

#### 【取消料】

	21日前まで	8日前まで	2日前まで	前日	当日	無連絡不参加
交流会	無料	20%	30%	40%	100%	100%
宿泊	無料	20%	30%	40%	100%	100%

お申し込みの内容を「取消し」または「変更」する場合は、下記の名鉄観光サービス株式会社徳島支店の営業時間内（平日の10:00～17:00）にご連絡ください。

詳しくは、受付サイト上に添付の旅行条件書をご確認くださいませ。

## 6 参加申込書の送付先及びお問合せ先について

- ◆ 名鉄観光サービス株式会社徳島支店

〒770-0904 徳島県徳島市新町橋2-10-1 徳島眉山第一生命ビル4階

電話：088-622-1203 FAX：088-622-1157

営業時間 10:00～17:00（定休：土・日・祝日） 担当：佐々木・小出

#### セミナーの内容・運営について（セミナー事務局）

阿南市社会福祉協議会 大会全般についてのお問合せ 総務課（担当：稲生 いなしょう）

分科会についてのお問合せ 地域福祉課（担当：齋 とき）

〒774-0030 徳島県阿南市富岡町北通33番地1（阿南ひまわり会館内）

電話：0884-23-7288 FAX：0884-22-7142